

シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称:あなたが知りたい防災科学の最前線 首都直下地震に備える
(防災推進国民大会 2018 のセッションとして開催)
- 2 日本学術会議の主催者:防災減災学術連携委員会
- 3 その他の主催団体等:
・主催:防災学術連携体
- 4 開催日時:平成30年10月13日(土) 16時30分～19時00分
- 5 開催場所:東京ビックサイト 会議棟7F 国際会議場
- 6 開催趣旨:
近年首都直下地震の発生が危惧されている。日本学術会議や防災学術連携体には、様々な視点から、首都直下地震の災害の軽減に向けて研究を続けている研究者がいる。防災においては「自助・共助」「地域での連携」が大切で、消防団、町内会や自治会、学校や職場で、防災訓練や教育が続けられている。
本シンポジウムでは、地域の防災力の強化に科学を役立てるため、市民の皆様が知りたい防災科学の最前線をわかりやすく伝える。また、市民の皆様から、防災科学に関する質問やリクエストも受付、各分野の研究者がそれに応える。
- 7 参加人数:
講演者等:25名
その他の参加者:495名
- 8 特記事項:
大会場にて多数の一般市民の皆様が参加され、開催された。
報道関係11社18名も出席。新聞記事等による報道がなされた。
当日の発表に使用されたスライド、ポスターは防災学術連携体のホームページにて公開している。
本シンポジウムは、防災減災に関わる研究者が直接市民の皆様に、防災減災に関わる科学的情報を提供する企画であり、幅広い分野の10名による講演と、ポスター発表をされた8名からのショートプレゼンテーションがあった。シンポジウム中の質問コーナーでは20件近い質問が寄せられた。時間の関係で回答できなかった質問に対しては、シンポジウム終了後に質問票に記入していただいたものを回収し、防災学術連携体のHPにて講演者の回答を掲載した。